







カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001を取得している。			3.9					6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HP等で公開している。また利害関係者が入手できるデータとして紙ベースの資料の用意がある。														12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	工場に太陽光発電が設置されている。									7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	各調達先にグリーン調達方針を発信しており、定期的な報告会、契約でもうたっており、非合法材を使用していない事を確認している。															12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職、贈収賄を禁止する方針、体制を構築している。CSR方針を立ててHPや社内掲示で公開している。																				16	16.5	
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為に関与しない方針、体制を構築している。CSR方針を立ててHPや社内掲示で公開している。																					16	
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標等知的財産権の取得、管理をしている。											8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報を適切管理する方針、体制を構築している。CSR方針を立ててHPや社内掲示で公開している。また、IATF16449を取得しているのでこれを補完する仕組みがある。																						16
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物を取り扱わない方針、体制を構築している。CSR方針を立ててHPや社内掲示で公開している。また、IATF16449を取得しているのでこれを補完する仕組みがある。																						16
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	各調達先にCSR方針を発信しており、定期的な報告会、契約でもうたっており、サプライチェーンの管理をしている。					5						8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。製品安全確保の観点で踏まえた品質実績報告をおこなっている。											3.9						12.4					
29	製品・サービス	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001、IATF16949を取得している。																					9	
30		【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	技術開発、製品設計におけるライフサイクルでの環境影響の把握、具体的に盛り込んだ施策をしている。																12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	特定の社会課題解決をテーマとした製品開発を推進している。(ゼロエネルギーで製品づくりができるような工場管理(温度管理)を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
																																
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域、公的機関(中学校、高校、大学、県内外の商工会議所など)と交流(工場見学、意見交換会)など接点を増やし、地域への良い側面を促進すべく積極的に推進している。					4								9		11	12					14	15					17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域のクリーンウォーク、諏訪湖アダプトプログラムなどに参加している。中学、高校のキャリア教育に協力しており、講師派遣、工場見学など多岐にわたり参画している。					4											11								14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	材料調達、また廃棄物処理など一連の生産業務について、地元企業を優先的に選定している。														8	9		11	12	13									
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化しており、それに基づいた戦略、部門方針を打ち出している。IATF16949を取得しておりこれを補完する仕組みがある。														8	9													17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法規制遵守を社長指示事項として、経営最優先事項として毎月の経営会議、また経営KIPとしてPDCAをまわしている。																												16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者各プロセスリーダー、CSR管理責任者を任命している。																												16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	内部、外部コミュニケーションの体制が整備されているので具体的な活動が実施されている。ISO9001、14001にてこの仕組みを補完している。																											16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISO9001、14001、IATF16949にてこれを補完する仕組みがある。																												16
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR方針を策定して、HPなどで開示。会社戦略にテーマとして選定しており、それをISO、IATFマネジメントシステムでPDCAサイクルをまわしている。																												16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPが策定されており、各災害緊急事態に応じた訓練を定期的実施している。																9		11		13 13.1							16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいる。組織の循環を人事制度で補完しておりガバナンス体制も確立されている。															8	9											17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)